

2021 年度 北部教員養成講座実施報告Ⅱ

2021 年度の教員養成講座は、第 1 次試験対策講座に 56 人、第 2 次試験対策講座に 28 人が参加し、最終合格者は 21 人となりました。これまで最高の実績を出した前年度の 20 人より 1 人上回りました。

今年度の本県の志願者数は 3,190 人で、昨年度より 341 人減少し、定員に対する志願倍率は 8.2 倍となり、昨年度より 1.1 ポイント下回る結果となりました。最終合格者は 388 人で合格率は 12.2%という発表がありました。

今年度は、本講座の二次対策開始後にコロナ感染防止の緊急事態宣言が出されたことで、本県の 2 次試験実施日が延期となり、一般受講者の二次対策講座は一時中断せざるをえませんでした。現役名桜生の個別指導は継続して実施してきました。しかし、全国的に志願者が減少傾向にあるにもかかわらず、現役名桜生の合格者数を伸ばすことができなかったことを真摯に受け止める必要があります。その理由として、二次試験対策講座への参加率が低かったことが考えられます。後期に向けて、新たな対策を講じていきたいと計画しているところです。

後期の北部教員養成講座は、11 月 11 日（木）に開講を予定しています。それに先駆け、11 月 5 日（金）には、教員採用試験に向けて新たに講座に参加する学生を対象に、「教員採用試験勉強の仕方や教師としての素養について、さらにモチベーションアップの秘訣等」を伝える勉強会を企画しています。

さらに、今年度はコロナ禍が要因なのか、あるいは受講料を徴収したことによるものなのか定かではないが、一次試験対策講座の一般の受講者数が半減したものの、昨年度後期の受講者が二次対策講座から参加し、一般の合格者を増やすことができました。後期の講座は、一般及び名桜生も含めて広報をより周知するなど、本講座受講者数を増やす取組を検討しているところです。

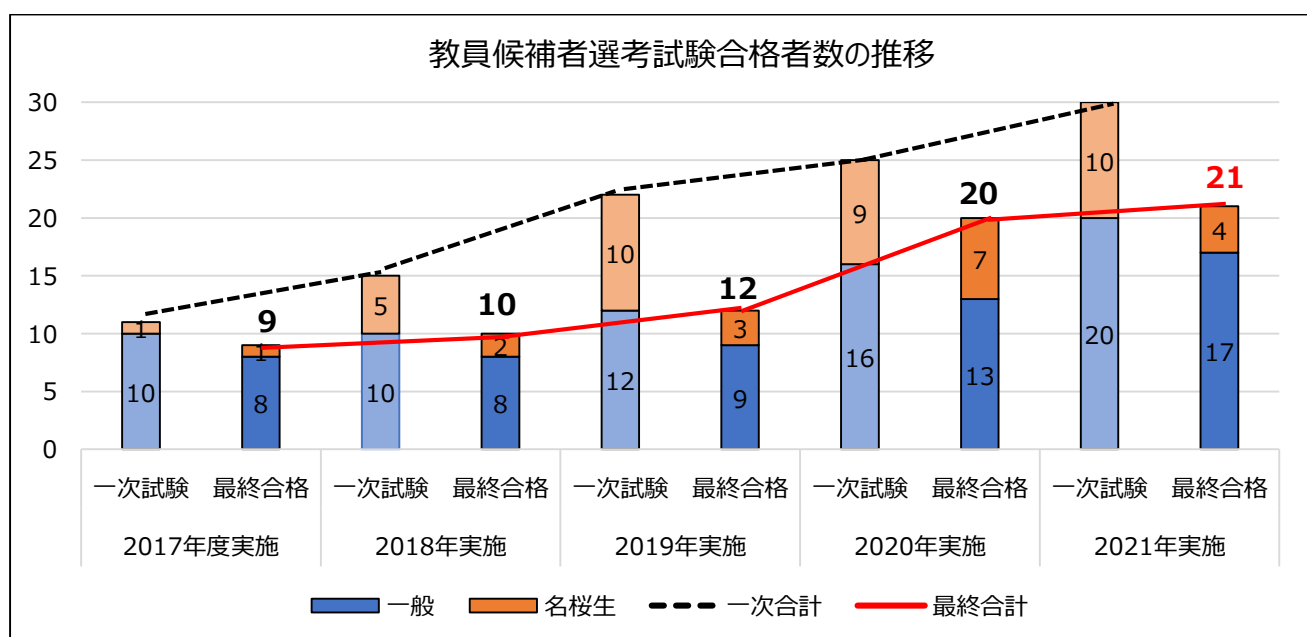


図 一次合格と最終合格者数の推移

表 2021 年度実施 教科別合格者数 沖縄県合格者 17 人、県外 4 人、()の数値は県外合格者内数

	小学校	英語	養護教諭	保健体育	国語	数学	社会	建築	合計
名桜生	1(1)	1(1)	1	1(1)					4(3)
一 般	10(1)	1	0	0	1	3	1	1	16(1)
合 計	11(2)	2(1)	1	1(1)	1	3	1	1	21(4)

★ 3年間の教員候補者選考試験の実施状況

	対象	受講者数	一次 合格者数	一次 合格率	最終 合格者数	最終 合格率	沖縄県 最終合格率
2019 年実施	名桜生	15	10	66.7	3	20.0	12.2%
	一般	63	12	19.0	9	14.3	
	合計	78	22	28.2	12	15.4	
2020 年実施	名桜生	22	8	36.4	7	31.8	10.8%
	一般	57	15	26.3	13	22.8	
	合計	79	23	29.1	20	25.3	
2021 年実施	名桜生	30	10	33.3	4	13.3	12.2%
	一般	31(+4*)	16+4*	51.6	17	48.6	
	合計	61(+4*)	26+4*	42.6	21	32.3	

※(+4*)は、今年度の2次対策講座から受講した者で、一次の合格率には含めない。
受講者数には、昨年度後期受講者で一次試験または二次試験対策講座のみの受講者も含む。

◆ 2次対策講座の実施報告

(担当 新城敦 地域連携機構)

実施期間 前半 23 人：7 月 20 日～7 月 30 日、後半(合格発表後) 23 人：8 月 16 日～8 月 31 日

実施内容 週 4 日(面接 2 日、模擬授業 2 日) 面接指導：一人 5～7 回程度行った。

・模擬授業の実施回数は、数学 5 回、小学校 4～6 回、英語 4 回、家庭科 3 回、養護教諭 6～7 回

※コロナ感染防止対策として、全受講生に①マスクの着用、②体調が悪い場合の欠席の要請、③体温測定、アルコール消毒の徹底を周知した。後半の緊急事態宣言(県の共同宣言)以降については、面接・模擬授業の個別の時間を設定し、受講生同士の接触をなくし、感染拡大防止に努めた。

◆ 二次対策講座に関するアンケート結果より (回答者 13 人)

(1) 肯定的な回答 100%(強く思う+そう思うの合計)の項目

- ①資料が充実しており、面接での指導助言は効果的であった。 ②模擬授業の指導助言は効果的であった。
- ③模擬授業のコロナ感染防止対策について満足している。 ④本講座担当講師陣に満足している。

(2) 「どちらでもない」という回答のあった項目

- ①開始時間について(強く思う 46.2%、そう思う 38.5%、どちらともいえない 15.4%)

仕事をしている人が多数のため、一次試験対策と同じ時間(19:00～20:55)に行ったが、どちらでもないという回答した人は、夏休み期間であったため、時間を早めた方がよいという意見だと予想される。

- ②二次対策の回数 週に面接 2 日、模擬授業 2 日(回答は①と同じ) 週 4 日はハードであったかもしれない
- ③面接指導のコロナ感染防止対策について満足している。(強く思う 30.8%、そう思う 61.5%、どちらともいえない 7.7%) (後半は個別対応をしたため、他の受講生の面接指導を参考にできなかったのが理由)

(3) 二次試験対策講座の良かった点

- ・時間の調整をいただいたこと
- ・丁寧に真摯に向き合ってくれたこと
- ・個別に時間を決められたこと
- ・先生方からの的確なアドバイスをいただいたこと
- ・二次試験で自信が持てるようになったこと
- ・いろいろな先生方と面接ができたこと
- ・自治体に合わせて個別でも対応してくれて、とても助かったこと
- ・緊急事態宣言下でも、配慮して最後まで助言いただけたこと
- ・面接指導では、良いところだけではなく、悪いところも指摘していただいたこと

[考察]①二次対策期間前半の面接指導では、他の受講生の面接を見学し、自己の面接の参考にすることができたが、緊急事態宣言後は、個別の面接指導を行ったため、他の受講生の様子が観察できず、「他の受講生の面接を見学しなかった」との意見があった。

②面接指導では、ほぼ全員が面接メートを準備し、指摘事項や指導助言を記録し活用していた。

③昨年度に比べ、名桜生の 2 次対策講座への参加が少なかった。